

令和2年度幼児教育あり方研究部会中間答申へのご意見提出結果

対象者	実施期間・提出人数	
認定こども園、小・中学校保護者	実施期間	令和3年2月25日～3月12日
	意見提出者人数	3名
一般	実施期間	令和3年4月1日～4月23日
	意見提出者人数	10名

■ご意見一覧

No.	項目	内容	意見数
1	環境改善、安全面	【懸念】騒音、排気ガス、安全性(子どもの道路への飛び出し、園庭で遊ぶ際の見守り、保護者の送迎)、園庭・園舎・駐車場広さ、自然環境、地域の方が様子を見守り育む環境に無い。	6
2	保小中15年プラン関連(メリット面)	【賛成】施設を隣接することは、職員及び子どもにとってつながりを作るために非常に良い。(しかし、会染児童センターを保育園に改修して使用することは反対)	3
3	保小中15年プラン関連(デメリット面)	【懸念】物理的に隣接している事でしか実現できない。大事な事とは何か。隣接することのみを優先に考え、保育環境が悪くなるようでは意味をなさないのではないか。	3
4	会染・中鶴地区への存続の意義	【指摘】若い人を呼び込むためにも施設の充実は必要。保育園・小学校が地区内にあることは、住民にとっても大きな張り合いとなり、活気が生まれる。	2
5	会染・中鶴地区内の位置	【懸念】町南部からの距離遠い。送迎に不便である。理想として渋田見地区、県道の東側に新築されたい。	3
6	池田保育園との比較	【懸念】池田保育園と格差が出ることは明らかである。格差を作ってはいけない。	2
7	長期的な施設の使用	【懸念】会染児童センターを改修して20年、30年の長期間使用が可能なのか疑問である。	2
8	財政優先	【懸念】大人と財政の都合が優先しており、こどもがまん中の理念から反れていないか。子どもへの投資は未来への投資である。	2
9	入園対象年齢について	【懸念】異年齢集団は発達上不可欠な要件である。3歳未満児を他の施設で保育することは良くない。	1
10	給食について	【懸念】自園給食でなくなることは食育上良くない。町の食育推進の方向性にも反するのではないか。	2

No.	項目	内容	意見数
11	3歳未満児の民間施設活用の方向性について	【懸念】会染児童センター活用による改修後、利用定数より多い3歳未満児の利用は民間施設活用も検討していると聞が、環境が悪くなる可能性がありよくない。	1
12	小学校統合に関連して	【懸念】子どもの数が減少し、小学校統合を検討する時期である。施設改修後小学校統合がなされるなら隣接することに意味がなくなってしまう。	2
13	現在の施設を必要最低限の改修を行った上で存続させることが最善	【理由一人目】1 財政面での検討結果の明示が無い。移転する際の費用、現在施設を最低限改修する費用はどの位か分析が必要。 2 町の財政状況により会染小学校大規模改修と同時進行は難しい。現在の場所であれば公共施設等整備基金を使い小学校工事より前に工事することは可能と考える。但し工事年度まで一定の積み増しを行うこと。 3 中間答申を実現させるための方策が乏しい。 【理由二人目】町の財政状況が安定し、新築が可能となる時まで現在の園舎を使用されたい。その際数年使用する上で必要な工事を行われたい。大雨等による災害時にも十分備えられたい。現在の会染保育園は景観的に日本一である。	2
14	会染児童センター(特に未就園児親子利用)の環境悪化	【懸念】児童センターは未就園児親子が利用出来る貴重な場所である。通いや早く冷暖房や広さ等整った場所であって欲しい。池田児童クラブ利用に変更する場合前術した点で環境が悪くなる。	1
15	意見聴取について	【要望】住民・保護者の意見を聞く機会を十分取って欲しい。	2
16	協議機関について	【提案】駐車場問題などについては、課を越えて知恵を出し合うべき課題だと考える。	1
17	中間答申で不十分な点について	【懸念】1 現在の場所で建設出来ない理由の明記が無い。 2 会染保育園の劣化がどの位進んでいるのか説得力に乏しい 3 施設に関する池田保育園との比較検討結果が明示されていない。	3
18	小学校でのリフレッシュの提案	【要望】小学校から児童クラブへ移動する際の気分転換に関連して、小学校の活動内でもリフレッシュ出来るような工夫をされたい。 学校は座って我慢する場所、社会に出た時の「耐性」を学ぶ場所という固定観念は捨てて欲しい。	1
19	池田・会染保育園統合を	【要望】人口及び今後の推移、こどもの割合、面積、交通、財政面等多方面から検討し、統合していくことが望ましい。(小学校も同様に) 人数が多いことによりこどもに刺激が増え、多様性を認めやすい環境になる。こどもの将来における選択肢を増やせる教育環境につながる。 少人数の保育・学習は手厚い支援が出来るという考えもあるが、反面少人数での弊害もある。	1